

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
芸術「美術Ⅰ」	美術1(光村図書)	2	1

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
---------	--

### 2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1 美術Ⅰの学習について 2 デザイン 「レタリング」 「色彩を学ぶ」 「色彩構成」	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の意義や年間の予定、評価方法について理解する。</li> <li>・素材や材料・用具の特性を生かした表現方法を体験し、表現の幅を広げる。</li> <li>・色彩感覚や陰影の表現力を高める。</li> <li>・デザインの視覚的な伝達効果について理解し、それらを効果的に生かし美しく構成する能力を高める。</li> </ul>	中間
		5		
		6		期末
		7		
2 学期	3 デザイン 「ペーパークラフト(蛇腹折)」 4 絵画 「切り絵」 「アクリル絵の具を使った表現」	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体造形の表現技能を高める。</li> <li>・素材の持つ機能、美しさなどを考えて構想を練り、計画力や作図の能力を高める。</li> <li>・切り絵による表現手法を学び、手順を考え、作品制作につなげる。</li> <li>・絵具による表現技法と効果についての理解を深める。</li> </ul>	中間
		9		
		10		
		11		期末
		12		
3 学期	5 工芸 「箸とスプーンの製作」	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい道具の使い方を理解する。</li> <li>・素材の良さを引き出し、機能美を追求する。</li> <li>・目的や素材にあったデザインを考え、作品に生かす。</li> </ul>	学年末
		2		
		3		

### 3 評価規準及び評価方法

#### (1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	材料や用具を生かして創造的な表現をするための技能を身につけることができたか。・形や色がもたらす効果を理解し、目的や計画をもとに創造的に工夫できたか。	感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できたか。形や色、材質、質感などを理解し、美しさや機能性につながるように、自ら考え、工夫できたか。	美術を愛好し表現の主題や形式などに幅広く関心をもち、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしたか。

#### (2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業で制作する作品の手順や道具の使い方などから評価する。授業で行うレポート制作を通して、知識に関する理解度を評価する。	授業で制作する作品をもとに、配色、構成、造形を工夫し、自らの表現に結び付けているかを評価する。	授業作品に取り組む姿勢、レポートの内容をもとに、制作をとおして、主体的に創造活動に取り組む姿勢を評価する。

### 4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

授業に必要な教科書・教具類の忘れ物をしないこと。また、宿題や課題は提出期日をきちんと守ることが大切です。丁寧な「ものづくり」の姿勢を大切にし、ひとつひとつの作品に、真摯な態度で取り組んでください。
--